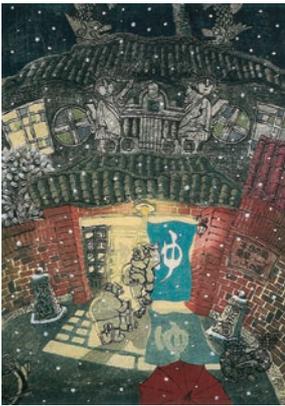




Kyoto Print Exhibition Executive Committee

Newsletter



Junko Hanahara, Winter Day, woodcut, 74.5x56cm, 2015



Rie Hidaka, Friend 2, soft-ground etching, 80x60cm, 2015



Mayumi Mera, Untitled, mezzotint, 35x35cm, 2014



Report on Japan and Canada International Print Exhibition 2017 in Edmonton by Akira Kurosaki



■■ 地活  
(仮) 域動  
開ブ 催口  
決ツ 告  
定展

受賞者インタビュー  
優秀賞  
目良 真弓  
奨励賞  
花原 順子  
日高 理恵

エドモントン展報告  
黒崎 彰

特集  
日本・カナダ  
国際版画展二〇一七

# 日本・カナダ国際版画展二〇一七 エドモントン展報告

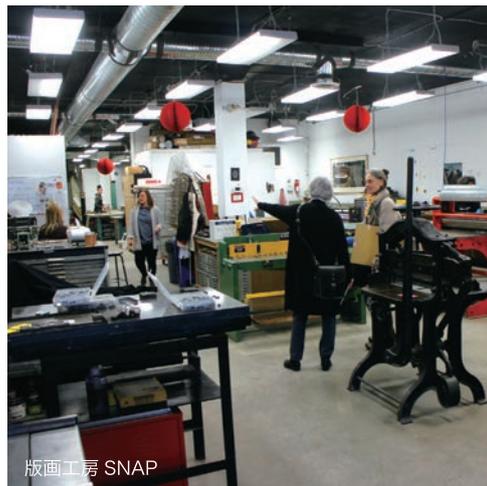
文・写真 黒崎 彰

「日本・カナダ国際版画展」は去る二〇一六年一〇月に京都市美術館で開催されたが、同展のカナダ側展示が、昨年三月アルバータ大学美術館(市内のデパート一階を利用したスペース)で開かれた。もともと同展は七月開催の予定だったが、大学美術館閉館の話が起り、カナダでも北に位置するエドモントンでは春まだ遠い三月に開催されることになり、そのため訪問を希望するメンバーが集まらず、代表として私だけが参加する結果になった。



W・ジュール先生のスタジオ

三月二日夕、エドモントン着。早速リズ・イングラム宅でのディナーで歓迎を受けた。二三日午前、版画工房「SNAP」訪問、午後アルバータ大学版画科(井田昭一、池田良二たちが学んだ)を見学、そして市内より車で一時間ほどの距離から、大先生ウォルター・ジュールのお迎えがあり、雪に覆われた彼のスタジオを訪ねた。二四日、両国の版画展をリズと訪問、余裕のあるスペースと日本作家の作品だけは額装されている、その手厚い扱いぶりに感謝し、また驚く。当日は展示の最終日でもあり、夕刻私の講演と在カナダ日本人の若者による太鼓連打が用意されていた。一〇〇名を超える聴衆を前に、私は古代から現代に至る「日本の木版画」と題し、用意したPower Pointを披露したのである。



版画工房 SNAP



日本・カナダ展会場



日本・カナダ展正面入口

\*表紙右下の写真: アルバータ美術大学版画研究室

## 優秀賞

銅版画 目良真弓 Mayumi Mera

- '83 千葉生まれ
- '11 京都造形芸術大学大学院修士課程修了
- '09 日本版画協会版画展('09, '10, '11, '15賞候補)
- '12 個展(ギャラリー恵風/京都)
- '16 日本・カナダ国際版画展優秀賞
- '17 アワガミ国際ミニプリント展アワガミファクトリー賞



「untitled (lace shirt)」H18.2×W21cm / メゾチント / 2017

版画は、大学三回生から本格的に始めました。それ以前は油画コースに所属して作品を作っていました。デッサン的な仕事や緊張感のあるモノトーンの世界観で作品を作りたいと思いい、なんとなく版画表現コースに転コースしました。もともと、高校時代に予備校で版画家の重野克明さんに絵を習っていた先生の作品が好きでしたし、銅版画のフラットな中に職人的な厳しさとニードルで版面を引っ掻く原始的な感覚が両立する感覚が不思議で未知の表現として憧れていました。

今までメゾチントで衣服を描いたシリーズの作品を作ってきましたが、このシリーズは長年身に付けていた衣服を自画像として描いたことから始まりました。それから、衣服を生身の肉体に代わるからだや皮膚、抜け殻として描いています。メゾチントを始めた時、銅版の表面にベルソーで傷を付ける感覚は自分の皮膚に傷をつけるような感覚があり、版と自分の皮膚感覚が重なる感覚がありました。人間の存在の生々しさや美しさを感じたり想像できるような作品を作りたいと思っています。

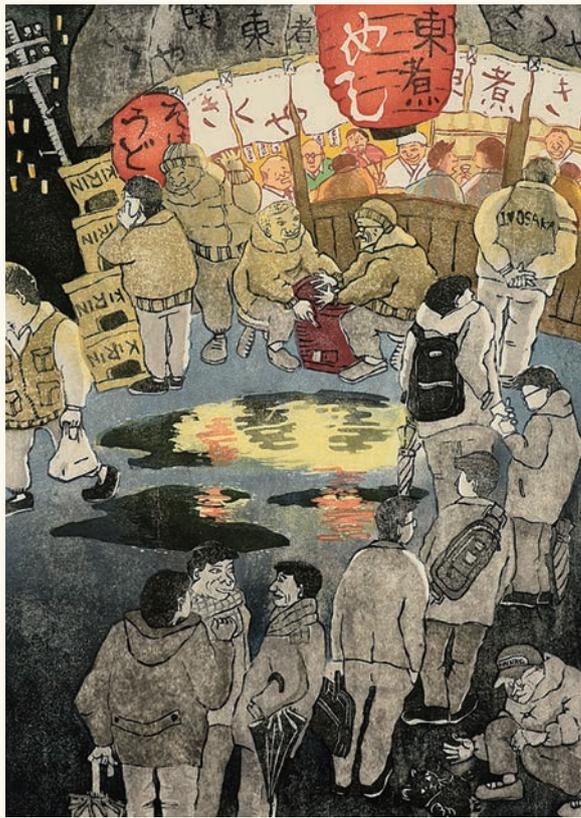


奨励賞

木版画

花原 淳子

Junko Hanahara



「雨上がり」H41xW58cm / 水性木版 / 2017

'09年～ NHK文化センターで黒崎彰先生の木版画講座を受講

- '12 日本版画協会展 ('14, '15 B部門賞候補, '16, '17)
- '16 日本・カナダ国際版画展奨励賞
- '17 日本・カナダ国際版画展受賞者個展 (ギャラリーヒルゲート/京都)



●木版画をはじめたきっかけ●  
 二〇〇九年にNHK文化センターで黒崎彰先生の木版画講座を受講したことが始まりです。二〇一二年に日本版画協会展に初出品し幸運にも入選したことで、それまで趣味で楽しんでいた木版画が、真剣に取り組んでいきたいことへと変わりました。

●作品のテーマと思い●  
 作品では大阪の街や人を描いています。私は生まれてから現在までずっと大阪で暮らしていますので、まず大阪の街と人が好きだから。二つ目は絵の技術も経験も足りない私には知らない土地やよく知らない人たちのことはもつと勉強しないと描けない気がしていました。自分の知っている土地や見慣れた人を描くことで下手なりに地に足のついた作品になる気がしたのです。

二〇一四年三月、十三の「しょんべん横丁」と呼ばれる場所を写生しました。その一週間後、火事での辺りはほぼ消失してしまいました。ここを作品にするときは一日も早く元の賑わいを取り戻してほしいという一心で作品を仕上げました。幸い二〇一六年一〇月に一部店舗も戻り徐々に活気が戻りつつあります。私が描く場所にはありふれた暮らしのある風景なのですが、以来どこを描くときも「ここにある日常がずっと当たり前に続きますように」と願いながら作品を作っています。

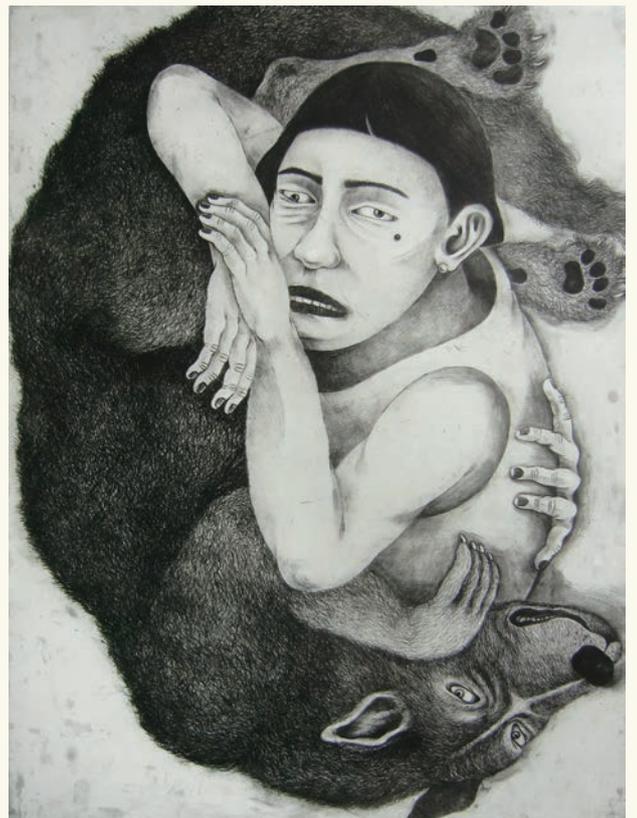


銅版画

日高 理恵

Rie Hidaka

- '82 京都市立芸術大学 工芸科 陶磁器コース卒業
- '13 第59回全関西美術展賞ホルベイン工業賞 日本版画協会展 ('13~'16)
- '14 日本・オーストラリア国際版画展 アワガミファクトリー賞
- '15 山本鼎版画大賞展
- '16 日本・カナダ国際版画展奨励賞
- '17 日本・カナダ国際版画展受賞者個展 (ギャラリーヒルゲート/京都)



「friends 4」H80XW60cm / ソフトグラッド・エッチング / 2016

日本・カナダ国際版画展で奨励賞を頂きありがとうございました。相変わらず、比較的大きなモノクロの作品を作っています。特にこれといったテーマやコンセプトはなく、その時々で気の向くまま手の動くまま、自然に出てくるものが作品になります。

「自画像」ですかとよく聞かれますが、意識したことはなく、でも自分の中から出てくるので「自画像」といえるかもしれません。作品は、自身のものに限らず強さがあり、おおらかでのびのびとした構図、どこか見る者の意表をつき、尚且つちよつとした可笑しさや皮肉のあるものに魅かれます。作品が完成するといつも「何力ガチガウ」という感覚におそわれることに矛盾を感じながらも、また次にとりかかります。

今後の課題は、制作面では単調な画面にならないように違う技法も入れること、画面の枠や大きさに捉われない構図、同じものの視点や角度を変えてみる、などです。モノトーンの世界をもっと楽しみ、今より大きな作品にもチャレンジしてみたいと思います。

自分自身への課題は、頭や心を常に柔らかくして、あらゆるジャンルから良い刺激を受けながら、自由気ままに作品づくりを続けていけば、また新しい発見があると密かに期待しています。

# 活動報告

展覧会名：KYOTO 版画 2017 第 1 回小品展  
 日 時：2017 年 2 月 28 日 (火)～3 月 12 日 (日)  
 会 場：JARFO 京都画廊  
 会場住所：〒602-0841 京都市上京区河原町通り今出川下る  
 梶井町 448-17 河原町トウキョウビル 1 階  
 出 品 者：会員有志 64 名 (作品点数：120 点)

第 1 回の小品展は、2016 年の秋に開催されたカナダ展に引き続き、近畿圏以外の皆様にも搬入にお越し頂き、大変勢いのあるスタートを切りました。皆様の慣れた搬入作業であっという間に空間完成！作品 2 段掛けの会場は、凝縮された美術館のようで、大変見ごたえのある空間となりました。この場をお借りして JARFO のスタッフの皆様、積極的にご参加頂きました皆様に、深く御礼申し上げます。もうすぐ第 2 回も開催予定です。第 1 回に続き、楽しくご参加頂きますようお願い申し上げます。

文：三上 景子 / 写真撮影：JARFO スタッフ



展覧会名：日本・カナダ国際版画展 2016 受賞者展 日高 理恵 銅版画展  
 日 時：2017 年 4 月 18 日 (火)～4 月 23 日 (日)  
 会 場：ギャラリーヒルゲート 2F  
 会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535  
 出 品 者：日高 理恵

ヒルゲートでの受賞者展は私にとって初個展でした。皆様に助けていただき、緊張の初日を迎え、立派なオープニングも催していただきました。ヒルゲートは定期的に観に来られる方がとても多く、おかげさまで 6 日間、ほぼ人が途切れることがなく毎日が楽しくてあっという間に最終日をむかえました。色々な方々とお話してきたこと、作品を観てもらえたこと全てが勉強になりました。お忙しい人見さんやスタッフの方にもお世話になり、本当に有難うございました。

文：日高 理恵 / 写真撮影：ギャラリーヒルゲートスタッフ



展覧会名：日本・カナダ国際版画展 2016 受賞者展 花原 淳子 版画展  
 日 時：2017 年 5 月 9 日 (火)～5 月 14 日 (日)  
 会 場：ギャラリーヒルゲート 2F  
 会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535  
 出 品 者：花原 淳子

観て下さった多くの方から「おもしろかった」「楽しかった」と声をかけていただきました。初めての個展で不安しかありませんでしたが、面白かったからと翌日も来てくださった方、木版画教室へ通う前に楽しかったから教室で配ると言っておDMを何枚も持って帰られた方々、絵を通じてたくさんの方々と会話できましたことが何より嬉しく幸せな日々でした。

文：写真撮影：花原 淳子



展覧会名：版画集「京都十景」第 7 集・出版記念展  
 日 時：2017 年 12 月 12 日 (火)～12 月 17 日 (日)  
 会 場：ギャラリーヒルゲート 1F, 2F  
 会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535  
 出 品 者：黒崎 彰、近藤 幸、齋藤 修、坂爪 厚生、神野 茅生子、鈴木 良治、野嶋 革、平木 美鶴、武蔵 篤彦、三田村 直美 (五十音順)

1F では新作の第 7 集に加え、これまでの 6 集分の作品が一同に展示されました。京都の街並みや自然の姿が各々の視点、各々の技法で描かれ、その多彩な作品群から、版画表現の面白さや作家のユニークさ、そして京都という場所の魅力を改めて感じました。

2F では第 7 集の出品作家の小作品が並びました。「京都十景」作品と照らし合わせる事で、作家の技術の深さや世界観をより堪能することができました。

文：野嶋 革 / 写真撮影：ツツミアスカ



## KYOTO 版画 2017 小品巡回展

2017 年 2 月に開催した小品展の中から選ばれた会員 31 名が、3 会場へ巡回する展覧会を催しました。詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

日 時：2017 年 5 月 24 日 (水)～6 月 4 日 (日)  
 会 場：ギャラリー悠玄 (石堀小路・しゅりークラブ内)

日 時：2017 年 6 月 15 日 (木)～6 月 19 日 (月)  
 会 場：アートスペース 973

日 時：2017 年 7 月 1 日 (土)～7 月 13 日 (木)  
 会 場：ART FORUM JARFO

共 催：版画京都展実行委員会、特定法人京都藝術交流協会



ギャラリー悠玄 アートスペース 973 ART FORUM JARFO

## 地域ブロック展 (仮) 開催決定

九州展  
 日時：2018 年 6 月 5 日 (火)～10 日 (日)  
 会場：山本文房堂画廊

京滋展  
 日時：2018 年 10 月 16 日 (火)～11 月 4 日 (日) (予定)  
 会場：JARFO 京都画廊

阪奈・兵庫展  
 日時：2018 年 10 月 18 日 (木)～23 日 (火)  
 会場：芝田町画廊

四国展、中部展については、決まり次第お知らせします。



<https://www.kyotohanga.com>

発 行：版画京都展実行委員会 (KYOTO 版画)  
 問い合わせ：075-702-5142  
 会 報 係：謝敷ゆうり、西住恵子、ツツミアスカ、三上景子